

どのした淵

【1年間ありがとうございました】

公民会長を仰せつかつて早1年が過ぎようとしています。コロナ禍の中で何気に過ごしていた普段の生活がいかに有難く、あたりまえの事ではなかったのだということをお願い知らされた1年でした。

戦後高度成長の中で物質的には豊かで便利な世の中になり、生活水準も向上してきましたが、その過程の中で私たちは大切なものを忘れてきていないでしょうか。食料も物資も少ない戦後の生活は、何もかもが不自由で思うに任せませんでした。人々の共生・協働の精神は培われていたような気がします。一人ひとりと・個々では生活できず、必然的に皆で協力して生きていかなければならなかったのです。もえ(模合)や、ゆい(結)による作業形態はまさにその象徴だと思います。

コロナの感染や地球温暖化による自然災害は人間どもに制裁がくだされているのでは！平凡な日常が必然ではないことに気づき、一人では生きて行けない摂理をみんなで共有することが大切です。

おりしも少子高齢化・人口減で公民会運営も今までの取組方では立ち行かない状況になってきました。そこで、今年度は新たな運営方法を取り入れ、全員参加の方法も試行してみました。年始総会でお示した地域づくりのテーマ「お・も・い・や・り」スローガンの「全員参加！皆で育む地域づくり」は、まさにこれからの地域づくりに必須ではないかと考え提案したものです。世帯代表名はあくまで公民会への世帯の届出者の名前であって、高峯公民会で生活する一人一人が地域づくりの要員だということを認識し、未来の公民会の創造・発展に向けスクラムを組んでいきましょう。

1年間お世話になりました。有難うございました。

発行責任者

高峯公民会 会長

三 腰 善 行

090-1089-9432

令和4年3月1日発行

【令和4年度総会】

3年度の年始総会で、4年度から1回総会にすることに決定していただいたので、役員会を開催し3月20日に行うことにしました。しかし、コロナ感染の先行きが見えない状況の中で公民館に集まるか、書面開催にするか等の開催方法については3月6日に再度役員会を開催し最終決定します。

書面開催にした場合、役員改選をどうするか課題になってきます。役員会での協議により、次のような手順により出来ないかと言うことになりました①各世帯に役員選出用紙を配布 ②選出用紙に記入し封筒に入れ3月20日に班長さんを通じてか、公民館に直接持つてくる ③開封は役員に委任 ④班長は現班長を中心に各班別に話し合いの上、20日までに報告するご意見があればお知らせください。



また、公民館で開催できた場合は、総会終了後、懇親会を行います。最近懇親会参加者が少ないようです。年度締め、新年度へのスタートの貴重な機会です。責めて乾杯までは居てください。皆で一年間の慰労をしましょう。よろしくお願いたします。

たかね寺小屋く持続可能な地域づくり

経費の節減PART2

クリーンセンターの年間の修繕料はどれくらいか予想できますか？ 年度によって修繕をする設備が変わりますが、令和2年度の設備修繕費は約3千500万です。高額な修繕について列記します。ベルトコンベア900万・灰固化設備690万・誘引送風機670万・塩化水素濃度計580万・・・です。このように、1件1件の修繕費が高額に上ります。

したがって、これらの設備を出来るだけ永く正常运转できるように保つことが経費節減につながることは当然のことです。そしてごみの量を減らすことで機材の稼働時間・率を下げることも機材の延命に繋げるために必要なことです。そこで皆さんの出番です。可燃ごみを減らし、資源ごみに分別しリサイクルする事は、これら機材の延命に繋がるのです。修繕の経費はもちろん税金を主な財源として賄われています。結局『我がむかすね』に戻ってくるという事です。面倒臭がらずに分別を！

【御卒業おめでとうございます】

3月は卒業式のシーズンです。15日に中学校・24日に小学校の卒業式が行われます。コロナ禍の中でどの様な形で開催されるかは分かりませんが、高峯には中学校を卒業する2人がいます。帖佐 直哉君（勝彦宅）と三腰 晃太君（史宏宅）です。御卒業おめでとうございます。

新たなステージで多くの出会い・経験を積み心身ともに成長されることをお祈りします。頑張ってください。



【どのした淵活用の利便性向上】

かねてより徳丸建設にお願いしていた、どのした淵下流原野の埋め立てが始まりました。土木事務所の指導により、擁壁裏流出部分の埋め戻ししか出来ないみたいですが、雑木竹を伐採した範囲を、全体的にならし、転圧をかけてくださるそうなので、駐車場としては十分使えるのではないのでしょうか。



お詫び

編集後記「田の神やあひのひと」

「どのした淵（2月号）」で、**白色トレイ**はその素材に関係なく、全て白色トレイのコンテナに入れてくださいと記載しましたが、さつま町の場合、取引業者との協議の中で、納豆のパックだけは水洗いをしてその他プラに入れることになっているそうです。**新しいごみの出し方・分け方**のポスターにもそのように掲載されています。尚且つ**とうふのパック**はそもそも食品トレイではなく食品の包装容器なので、プラのリサイクルマークがついているものはその他プラになるそうです。

そこで**食品トレイ**とは何ぞや？調べてみました。『スーパードで使われている、発砲スチロールなどの樹脂でできた食品包装容器。鮮度保持や軽さ、衛生性、商品の保護適正、製品加工適正など、優れた特性を持ち、食品の流通にかかせないものになっている。現在は年間100万トン、枚数にして125〜200億枚が生産されている。』という事です。私の誤った認識により混乱を招いてしまいました。申し訳ありません。お詫びして訂正いたします。お菓子などの袋もプラマークのあるビニールやプラスチック類は全てその他プラに出してください。それぞれの自治体によって分別の仕方も分類数も違います。取引先のリサイクル業者がどのように処理（リサイクル）するかによっても違ってきます。更にリサイクル業者も取引価格決定のための入札により何年か毎に変わる可能性もあります。